

関西学院大学

世界から信頼される
トップグローバル大学をめざす

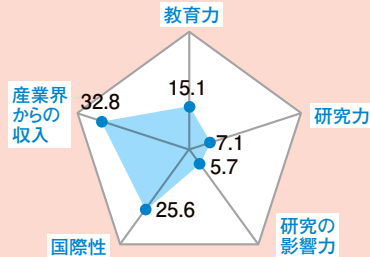
Kwansei Gakuin University



学生数 / 24,107人
学部 / 神、文、社会、法、経済、商、人間福祉、国際、教育、総合政策、理工
大学院 / 神学、文学、社会学、法学、経済学、商学、理工学、総合政策、
言語コミュニケーション文化、人間福祉、教育学、国際学、司法、経営戦略

指標	ポイント	ランキング	その他指標
総合	<18.5	801+位	ST比率 / 15.6
教育力	15.1	801+位	留学生の割合 / 4%
研究力	7.1	801+位	
研究の影響力	5.7	801+位	男女比 / 47 : 53
国際性	25.6	601-800位	
産業界からの収入	32.8	801+位	

ランキング担当部署:学長室



*データは全て THE 世界大学ランキング 2016-17 に基づく

「国際性」は正当評価 「研究力」も基盤強化

ワールドランキングは、世界の流れなので無視するわけにはいきません。日本版が作成されるという話もあり、今回初めてエントリしました。これまでも海外の大学から、ランクを問われることがしばしばありました。本学は40か国190の海外協定校があり、留学生は年間約10000人。特にアジアの大学は外部評価を頼りにしていることも多く、ランクインしたことは海外の協定校を増やすうえでメリットになります。

「国際性」のスコアは、本学の強みが正に評価されたとみています。このウエイトは全体の割合から見れば75%ですが、我々の努力の成果が表れたのでしよう。スーパードグローバル大学に採択されたのは2014年。グローバル人材育成支援は2012年から採択されていたので、これらの事業目標を達成していけば、「国際性」のスコアはさらに伸びていくだろうと

と考えています。一方、「研究の影響力」や「研究力」の評価は上昇が期待されます。今回のランキングの評価対象期間に比べ、ここ3年で科研費の採択件数が4割増えているので、結果的に研究分野のスコアも今後は上がっていくでしょう。

社会要請より一歩先へ 国際教育をさらに強化

スーパードグローバル大学に採択された「グローバル・アカデミック・ポート」の構築」では、留学生の増加など、43の施策を実行していきます。目玉となるのが、「ダブルチャレンジ制度」です。全学生が、所属する学部や専攻以外のものにチャレンジします。留学などの国際交流プログラムに参加する「インターナショナル」、社会での実践型学習を伴う「ハンズオン・ラーニング」、他学部のカリキュラムを履修する「副専攻」の3つのプログラムがあります。さらに2017年4月、大学院

に「国連・外交コース」、学部「国連・外交プログラム」を創設します。元国連事務次長の明石康氏が客員教授に就任しています。国連等で活躍できるエキスパートの育成が狙いです。世界の公的機関で活躍するグローバルリーダーの育成は、本学の使命である「世界市民の育成」やスクールモットーである「Mastery for Service」(奉仕のための練達)とも合致します。

23年後には、創立150周年を迎えます。「中期総合経営計画」の策定のため、2016年4月に総合企画部を設置し、またそれ以前からガバナンスの改革にも着手していました。本学は、日本の大学の中でも常に世の中の流れの一歩先を行く国際教育を行ってきた、という自負があります。これからも、「本学のやり方に世の中がついてくる」くらいの気概をもって国際教育を推進します。



副学長(国際担当)
神余隆博

しんや たかひろ ●1972年大阪大学法学部卒業、外務省入省。ワシントン日本国総領事、国際連合日本政府代表部特命全権大使、在ドイツ特命全権大使などを歴任。2012年関西学院大学副学長(国際担当)就任。

取材・文 / 友田千恵 撮影 / 楠本夏彦